

おおみち

第93号

平成27年(2015年)10月1日
滋賀県立安土城考古博物館

平成27年秋季特別展

倭五王 海を渡る

平成27年 10月17日[土] - 11月29日[月]

開館時間...午前9時～午後5時 ※ただし、入館は午後4時30分まで

休館日...10月19日[月]・26日[月]・11月4日[水]・9日[月]・16日[月]・24日[火]

入館料...大人890円(680円) / 高大生630円(460円) / 小中生410円(310円) / 県内高齢者(65歳以上)450円(340円)

※()は20人以上の団体料金です。※「信長の館」との共通券もあります。

主催...滋賀県立安土城考古博物館

後援...百舌鳥・古市古墳群文化遺産登録推進本部

連携...大阪府立近つ飛鳥博物館

特別協力...大阪城天守閣



第5回滋賀-大阪
博物館連携企画



世界文化遺産を大阪に
百舌鳥
古市古墳群



蒙古鉢形瀬田付冑(五條猫塚古墳)



国宝 金銅製龍文透彫二号鞍金具前輪(菅田丸山古墳)



金銅製龍文透彫帯金具(行者塚古墳)



仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)



重要文化財 横板板紙留短甲(新開古墳)



(参考) 宮垣外遺跡 馬埋葬状況

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

平成27年秋季特別展

倭五王海を渡る

会期 10月17日(土)～11月29日(日)

*休館日 10月19日(月)・26日(月)

11月4日(水)・9日(月)・

16日(月)・24日(火)

5世紀は、倭王権が朝鮮半島諸国や中国王朝との関係を模索しつつ、軍事行動を伴いながら交流しました。海外交流や軍事行動を意識した古墳を掛かりとして、当時の対外活動や軍事行動に従事した人々の広がり、その結果形成された「倭国」としての社会構造について考えます。

主な展示資料(●は国宝・◎は重文・△は市指定文化財)

●譽田丸山古墳出土鞍金具(譽田八幡宮蔵)

◎茶すり山古墳出土武器・武器(朝来市教育委員会蔵)

◎豊中大塚古墳出土甲冑(豊中市教育委員会蔵)

◎新開古墳出土武器・武器・馬具(当館蔵)

△宮垣外遺跡出土馬具(飯田市教育委員会蔵)

△黒姫山古墳出土甲冑(堺市教育委員会蔵)

秋季特別展記念講演会

「東アジアの中の百舌鳥・古市古墳群」(仮)

日時 10月25日(日) 13時30分～

講師 白石太一郎氏

大阪府立近つ飛鳥博物館館長

連続講座「淀川水系の中期古墳」(全6回)

コーディネイト: 広瀬和雄氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

①「大和川水系と淀川水系の前方後円墳」

日時 11月8日(日) 13時30分～

講師 広瀬和雄氏

国立歴史民俗博物館名誉教授

②「大田茶臼山古墳の築造と大和王権」

日時 11月21日(土) 13時30分～

講師 森田克行氏

高槻市立今城塚古代歴史館館長

③「恵解山古墳と向日丘陵の古墳群」

日時 12月5日(土) 13時30分～

講師 梅本康広氏

(公財)向日市埋蔵文化財センター

④「久津川車塚古墳の造営」

日時 12月19日(土) 13時30分～

講師 小泉裕司氏

城陽市教育委員会

⑤「亀岡盆地と丹波の中期古墳」

日時 1月16日(土) 13時30分～

講師 土井孝則氏

亀岡市文化資料館

⑥「琵琶湖周辺の中期古墳」

日時 1月30日(土) 13時30分～

講師 細川修平

当館学芸課長

きて・みて・さわって考古学
あの遺跡は今！パート21開催しました！

毎日たくさんの発掘調査が全国で実施されています。発掘資料は、そのまま収蔵されるわけではなく、発掘調査報告書に掲載し、公表していきます。私たちの整理調査課は、その報告書を作成する部署です。

この地道な作業に思い切りスポットを当てた恒例イベントが「あの遺跡は今！」。今夏は七月一九日(日)に開催しました。

この日は朝から作業室を一般公開し、目の前で調査作業や本物の出土品を堪能していただきました。遺物実測のコーナーでは、スタッフが繰り出す匠の技に驚きの声。出土遺物はもちろんのこと、その形を精密にかたどり、図面に仕立てていく過程などをじっくり見ていただきました。

本物の土器や埴輪などに触れ、調査作業の一部を体験するコーナーでは、幼児から年配の皆様まで心ゆくまで実体験。賑やかな夏の一日となりました。

次回は平成二八年二月二八日です。ぜひお越し下さい。



収蔵資料紹介

刀八毘沙門天曼荼羅図 一幅

滋賀県近江八幡市 長命寺所蔵
絹本着色 九七・〇×四二・八糎

数ある毘沙門天像の中に、兜跋毘沙門天と呼ぶ像が存在します。国宝の東寺像(唐時代)をはじめ、地天女の掌上に立つ異形像がそれです。「兜跋」の語義は不詳ですが、中世後期以降、これを「刀八」と表記するケースが派生します。それに伴い、従来の二面二臂から、八振の刀を左右の各四臂に持たせる多臂像へとその形制が変容し、軍神として信仰されるに至ります。經典的根拠があるわけではなく、字面の変化が像容の変化を促したようで、二面十臂から四面十二臂まで様々な姿を示現します。



刀八毘沙門天曼荼羅図

長命寺本は、二三年に開催した『武将が纏った神仏たち』展で初公開したところ、特異な作例として反響を呼び、今年は長野県下の展覧会にも出張しました。本図で注目されるのは、本尊が四面十二臂騎獅像で、頭上に獅子冠と二軀の化仏、足下に玄武を現わすこと、また、本尊の上下に各八尊の眷属が圍繞するところです。眷属については、下方の八体中、上段両端の二像が吉祥天と善膩師童子、下段中央の二尊が龍王と稲荷神、上方の八体中、左下端の一尊が、狐に騎乗するものの、袋を負う大黒天と考えられます。

制作は江戸時代。比較的新しい作ですが、弁才天十五童子像や茶吉尼天曼荼羅に見られる眷属と類似する像を含むなど、複合的な性格を示す遺品と言えるでしょう。なお、刀八毘沙門天に関しては、拙稿「刀八毘沙門天像の成立と発展」(伏見稲荷大社刊『朱』五六号)をご参照下さい。

(山下立)

第一常設展示室 トピック展示

「蔵骨器と経筒」

会期 10月1日(木)～1月8日(金)

博物館講座

「蔵骨器と経筒」

日時 11月14日(土) 13時30分～

講師 白井忠雄氏(高島市教育委員会)

第二常設展示室 トピック展示

「お市を巡る男たち」

会期 10月29日(木)～11月29日(日)

博物館講座

「お市を巡る男たち」

日時 10月31日(土) 13時30分～

講師 高木叙子(当館学芸員)

その他の催し

「博物館で写真を撮ろう」

日時 10月12日(月・祝) 13時30分～

講師 寿福滋氏(写真家)

要予約・有料

「うつけ茶屋」

日時 10月18日(日) 13時30分～15時

当日受付(先着三〇名)・有料

「秋のお茶会」

日時 11月15日(日) 10時～15時

当日受付(先着一〇〇名)・有料

「お正月飾りを作ろう」

日時 12月23日(水・祝) 13時30分～15時

当日受付(先着二〇名)・有料

博物館の主な催し

			企 画 展 示 室	第1常設 展 示 室	第2常設 展 示 室			
10 月	12日(月・祝)	博物館で写真を撮ろう 講師:寿福滋氏 13時30分【有料・要予約】	平成27年秋季特別展 「倭五王海を渡る」 10月17日(土)～11月29日(日)	トピック展示 「蔵骨器と経筒」 10月1日(木)～1月8日(金)	トピック展示 「お市を巡る男たち」 10月29日(木)～11月29日(日)			
	18日(日)	うつけ茶屋 13時30分～15時【有料・当日受付、先着30名】						
	25日(日)	秋季特別展記念講演会 「東アジアの中の古市・百舌鳥古墳群」 講師:白石太一郎氏(大阪府立近つ飛鳥博物館館長) 13時30分～【有料】						
	31日(土)	博物館講座 「お市を巡る男たち」 講師:高木叙子(当館学芸員) 13時30分～【有料】						
11 月	8日(日)	連続講座 淀川水系の中期古墳① 「大和川水系と淀川水系の前方後円墳」 講師:広瀬和雄氏(国立歴史民俗博物館名誉教授) 13時30分～【有料】						
	14日(土)	博物館講座 「蔵骨器と経筒」 講師:白井忠雄氏(高島市教育委員会) 13時30分～【有料】						
	15日(日)	秋のお茶会 10時～15時【有料・当日受付、先着100名】 のぞいてみてね!整理室～考古学の調査を大公開～ 会場:安土城考古博物館内整理調査課分室 12時～15時45分【無料】						
	21日(土)	連続講座 淀川水系の中期古墳② 「大田茶臼山古墳の築造と大和王権」 講師:森田克行氏(高槻市立今城塚古代歴史館館長) 13時30分～【有料】						
	28日(土)	遺跡探訪(クルーズ) 琵琶湖から古墳を見る						
12 月	5日(土)	連続講座 淀川水系の中期古墳③ 「恵解山古墳と向日丘陵の古墳群」 講師:梅本康広氏((公財)向日市埋蔵文化財センター) 13時30分～【有料】						
	19日(土)	連続講座 淀川水系の中期古墳④ 「久津川車塚古墳の造営」 講師:小泉裕司氏(城陽市教育委員会) 13時30分～【有料】						
	23日(水・祝)	お正月飾りを作ろう 13時30分～15時【有料・当日受付、先着20名】						

※講座の会場はすべて当館セミナールームです。※事情により行事内容や日時が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

第5回大阪・滋賀博物館連携企画

平成27年秋季特別展

ワカタケル大王の時代

—ヤマト王権の成熟と革新—

平成27年10月3日[土]～11月29日[日]

休館日…毎週月曜日(ただし、10月12日・11月23日は開館、10月13日・11月24日は休館)

主催…大阪府立近つ飛鳥博物館/産経新聞社
後援…堺市/羽曳野市/羽曳野市教育委員会/藤井寺市/藤井寺市教育委員会
河内町/河内町教育委員会/太子町/太子町教育委員会
百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部/近畿日本鉄道
交通…近鉄長野線「藤志」駅および「富田林」駅から会館/バス
「阪南ネオポリス」バス停 下車 徒歩600m

●アスカディア・古墳の森
大阪近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM
〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL 0721-93-8321(代) FAX 0721-93-8325
<http://www.chikatsu-asuka.jp>

おおてみち 第93号
平成27年(2015年)10月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail: gakugetai@azuchi-museum.or.jp URL: <http://www.azuchi-museum.or.jp>